

響きのあるサウンド

6月11日(日)は甲子園球場で開催された、「甲子園ブラスバンドフェスティバル2023」に行ってきました。これは甲子園球場が100周年を迎える2024年に向けて、これまで甲子園球場を支えてきた全ての方々に感謝を伝え、その歴史を振り返る「甲子園球場100周年記念事業」の一環です。当日は雨模様で開催が危ぶまれましたが、見事に天候は回復し開催されました。

出場校は**本校も含め8校**、(他の7校は演奏順に**智辯学園和歌山高校、履正社高校、智辯学園高校、近江高校、龍谷大平安高校、四条畷学園高校、習志野市立習志野高校**)各校の演奏に加え、総勢約800名による圧巻の合同パフォーマンスもあり大変、見応え聴き応えのあるものでした。

本フェスティバルの冒頭は本校によるファンファーレで始まり、衣装も夏の甲子園を完全再現したもので、**力強く心地よいファンファーレの音が球場全体に響き渡りました**。各校代表(部長等)による宣誓も素晴らしいメッセージが込められていました。本校の演奏は選曲も素晴らしく(プログラムにはなかった「六甲おろし」も演奏)、その響きのあるサウンドに、観客のみなさんは大いに盛り上がり、応援していただいていることを実感した次第です。

以下、本校吹奏楽部部長さんの当日の演奏に向けての思いや甲子園に関わった方々の心情にも思いを馳せたメッセージです。(素晴らしい!)

「甲子園球場は私たち吹奏楽部にとっても特別な場所です。大きな球場を見ながら演奏をする度に、甲子園に関わった方々の声援を思い出し胸がいっぱいになります。このイベントを私たちの演奏でもっと盛り上げられるように、部員一同良い演奏ができるよう頑張ります!」

(パンフレット掲載分)









